

～糖尿病患者様対象～

常勤専門医と多職種チームによる支援



医療法人 島門会

本島総合病院

MOTOJIMA GENERAL HOSPITAL

一生モノの「自己管理スキル」を、2週間で。

～一律のカロリー制限からの脱却～

「カロリー」を厳しく制限されることに辛い思いをしていませんか。
当院ではカーボカウント（炭水化物のエネルギー量等を測定する）する手法を正しく身につけることで、自由度の高い食生活が実現できるよう支援しています。

こんな方におすすめ！

最近血糖値が
安定しない

食事制限が
辛くなってきた

インスリンの単位数に
不安がある

	従来の方	当院の教育入院
目標	一律のカロリー制限	自分のライフスタイルに合わせた管理
楽しみ	我慢が続く	適切に調整すれば外食も楽しめる
技術	我慢の精神力	数値を読み解く「スキル」の習得
自由度	低い	高い（自分で選択できる）

～多職種からの支援～

薬剤師：低血糖への対処法

看護師：インスリン、血糖測定の方法

理学療法士：膝が痛くてもできる自宅運動法

管理栄養士：外食等でも迷わないカーボカウント



医療法人
島門会

本島総合病院

〒373-0033 群馬県太田市西本町3-8

外来時間

月、金、土 午前9:00～12:00 午後14:00～16:00
木 午前9:00～12:00

担当医

川田 敏夫

お問い合わせはこちら

0276-22-7131

本島総合病院

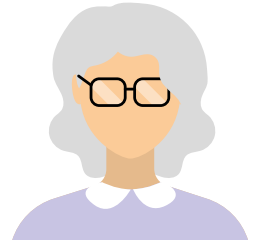


「食事の不安」が解消された患者様（60代・女性）

「食べてはいけない」から、「どう食べるか」へ。外食も怖くなくなりました

以前は、何を食べても血糖値が上がる気がして、食事の時間が苦痛でした。でも、この教育入院で「カーボカウント」を学び、食べ物に含まれる炭水化物の量を自分で見極められるようになったんです。

管理栄養士さんが一緒にコンビニに置いてあるような商品を踏まえて「これならこのくらい打てば大丈夫」と具体的に教えてくれたのが自信になりました。今では、友達とのランチも計算しながら楽しめるようになり、気持ちが本当に軽くなりました。



「インスリン調整」に自信がついた患者様（50代・男性）

自分の体の『操縦法』を教わった2週間。仕事との両立に光が見えました

仕事が不規則で、インスリンの量をどう調整すべきかずっと不安でした。今回、専門医の先生や看護師さんと一緒に、自分の活動量に合わせた調整方法を徹底的に練習しました。

驚いたのは理学療法士さんからのアドバイスです。仕事の合間にできるちょっとした運動が、これほど数値に響くとは思いませんでした。「やらされる治療」から、自分でコントロールする「セルフマネジメント」に変わった実感があります。



「チーム医療」の安心感を感じた患者様（70代・男性）

一人じゃない。専門家チームの支えが、再出発の勇気をくれました

糖尿病と診断されてから、どこか孤独を感じていました。しかし、この病院では医師、看護師、薬剤師、リハビリの先生たちが一丸となって私の生活を考えてくれました。

薬のこと、足のケアのこと、毎日の体重測定の意味……。各分野のプロから教わった知識は、私の財産です。「退院後も、かかりつけの先生と連携して見守りますから」という言葉に、心底安心しました。

